

# 安全データシート (SDS)

作成日 : 2014年12月22日

改訂日 : 2022年04月01日

## 1. 製品及び会社情報

### 製品

製品名 Non! ステップ 樹脂エマルジョン

### 会社情報

会社名 シンレキ工業株式会社

住所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5丁目38番1号

緊急連絡先 中央研究所

電話番号 044-366-1617

FAX番号 044-366-1618

### 推奨用途及び使用上の制限

- ・セメントモルタル混和液として使用。

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

急性毒性 (経口)	区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入-ガス)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入-蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入-粉塵およびミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	区分に該当しない
皮膚感作性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	区分に該当しない
水生環境有害性 短期 (急性)	区分3
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分3

※ 記載が無いものは分類対象外又は分類できない。

### ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

#### 危険有害性情報

- ・軽度の皮膚刺激

- ・重篤な眼の損傷
- ・水生生物に有害

### 注意書き

#### 〔予防策〕

- ・絶対に飲まないこと。
- ・使用前に取扱い説明書を入手すること。
- ・使用前に本 SDS を読み、すべての安全を理解するまで取り扱わないこと。
- ・指定された個人用保護具（保護メガネ、保護手袋、保護衣）を着用すること。
- ・粉塵／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・屋外または換気の良い場所で使用すること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。

#### 〔対応〕

- ・衣類に付着した場合：汚染された衣服を脱ぎ、再利用する場合には洗濯すること。
- ・皮膚(または髪)に付着した場合：皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
- ・眼に入った場合：水で15分間以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、必ず医師の診断／手当を受けること。
- ・吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合及び気分が悪い時：医師の診断／手当を受けること。
- ・漏洩した場合：布等でふき取ること。

#### 〔保管〕

- ・容器を密閉し、換気の良いところで保管すること。
- ・凍結（3℃以下）や高温（40℃以上）は避け、屋内で保管すること。

#### 〔廃棄〕

- ・内容物／容器を関係法令に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別	・混合物	
化学名又は一般名	・アクリル共重合エマルジョン	
成分及び含有量	・① アクリル系共重合体	35.0 %
	・② ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	2.00 %
	・③ 水	59.6 %
	・④ その他添加剤（鉱油として0.2%含有）	3.40 %
CAS 番号	・① 未登録 ② 登録済み ③ 7732-18-5 ④ 未登録	
官報公示整理番号（化審法）	・① 登録済 ② 7-97 ③ 未登録 ④ 登録済	
	（安衛法）	・①、②、③、④、化審法を準用
	・特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（2008年改正化学物質	

#### 4. 応急措置

##### 吸引した場合

- ・蒸気、ガス、粉塵、燃焼生成物などを吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静に休ませる。
- ・入れ歯をしている場合には外すこと。
- ・呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。
- ・必要なら心肺蘇生法 (CPR) を行うこと。
- ・当該 SDS やラベルを医師に示し、診断を受けること。

##### 皮膚に付着した場合

- ・付着物を布などで素早くふき取る。
- ・大量の水及び石鹸にて十分に洗浄する。
- ・外観に変化が見られることや、痛み等の刺激があれば医師の診断を受ける。

##### 眼に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で洗い流す。
- ・上下の瞼を持ち上げることにより、目の完全な洗浄を行う。
- ・眼の損傷の後のコンタクトレンズの除去は熟練者により処置する。
- ・できるだけ早急に医師の診断を受けること。

##### 飲み込んだ場合

- ・安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物がある場合、気道確保のため、患者をうつ伏せにするか、左側を下にして寝かせ、嘔吐物を飲み込まないようにする。

##### 最も重要な徴候及び症状

- ・特になし。

##### 応急措置をする者の保護

- ・適切な保護具 (保護メガネ、保護手袋、保護衣) を着用する。換気を行う。

##### 医師に対する特別な注意事項

- ・特になし。
- 

#### 5. 火災時の措置

##### 消化剤

- ・粉末、泡、乾燥砂などの消火剤が有効である。

##### 特有の危険有害性

- ・ラテックス状態では不燃である。乾燥物は可燃であり、燃焼ガスには、二酸化炭素、一酸化炭素などが含まれているので、消化の際は煙を吸引しないように注意する。

##### 消化を行う物の保護

- ・適切な保護具 (耐熱性着衣など) を着用すること。
  - ・可燃性のものを周囲から素早く取り除くこと。
  - ・指定の消火器を使用すること。
- 

#### 6. 漏出時の措置

### 人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

- ・作業の際には、適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
- ・多量漏出時にはエリアから人員を退去させ、風上に移動する。

### 環境に対する注意事項

- ・利用可能な任意の手段により河川、排水管等への流入を防ぎ、環境への影響を起こさないようにする。
- ・河川、排水管などへの汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

### 回収、中和、封じ込めおよび洗浄方法と機材

- ・大量の流出時には乾燥砂、土で囲い流出を阻止する。
- ・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 安全な取扱いのための予防措置

- ・換気の良い場所で取り扱う。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・使用後のウエス、カス、スプレーダスト等は廃棄するまでに水につけておく。
- ・皮膚、粘膜または着衣に触れることや、眼に入らぬよう適切な保護具を着用する。
- ・作業所は、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着用し、作業すること。
- ・取扱いの時には、飲食又は喫煙しないこと。

### 安全な保管条件（配合禁忌等）

- ・日光の直射を避ける。
- ・容器を密閉して風通の良い所に保管する。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。

---

## 8. 暴露防止及び人に対する保護措置

### 設備対策

- ・取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器を使用する。
- ・取扱場所の近辺に、安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明示する。

### 管理濃度

- ・設定されていない

### 許容濃度

- ・① ポリ（オキシエチレン）＝ アルキルエーテル 設定されていない。
- ・② 鉱油 STEL 10 mg/m<sup>3</sup>、TWA 5 mg/m<sup>3</sup>

### 保護具の着用

- ・必要に応じて次の保護具を着用する。
- ・密閉された場所では送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器、有機防毒マスクを適時選択する。
- ・保護眼鏡、不浸透性の保護手袋、防護長靴、防護服。
- ・作業中の飲食、喫煙はしないこと。飲食、喫煙前後は手を洗うこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など 乳白色の液体

臭い	微アクリル酸エステル臭
pH	7.0 ~ 9.0
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
溶解度	易溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

- ・常温付近では危険な反応はしない。

### 避けるべき条件

- ・3℃以下あるいは40℃以上としないようにする。

### 混触危険物質

- ・水と接触して発熱するもの及び有害ガスを発生させる恐れのあるものとは同一に貯蔵しないこと。

### 危険有害な分解生成物

- ・知見なし。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

- ・経口 ラット (LD 50) 5000 mg/kg 以上 (鋳油の成分情報) <sup>a)</sup>
- ・経口 ラット (LD 50) 544 mg/kg (ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテルの成分情報) <sup>a)</sup>
- ・経皮 ラット (LD 50) 5000 mg/kg 以上 (鋳油の成分情報) <sup>a)</sup>
- ・経皮 ラット (LD 50) 2000 mg/kg (ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテルの成分情報) <sup>a)</sup>
- ・吸引(蒸発) ラット (LC 50) 2.18 mg/ℓ (鋳油の成分情報) <sup>a)</sup>
- ・吸引(蒸発) ラット (LC 50) 1.50 mg/ℓ (ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテルの成分情報) <sup>a)</sup>

### 皮膚腐食性・刺激性

(製品のデータ) 区分3 軽度の皮膚刺激

(成分のデータ) ・ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル

CERI・NTTE 有害性評価書 No. 89 (2005) のウサギを用いた皮膚刺激性試験の記述より区分2

・鋳油

ウサギを用いた試験において軽度の刺激性を認めている複数の報告 (IUCLID (2000)) に基づき 区分3

### 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

(製品のデータ) 区分1 重篤な眼の損傷

- (成分のデータ) ・ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル  
CERI・NTTE 有害性評価書 No. 89 (2005) のウサギを用いた眼刺激性試験の記述より「非常に強い刺激性を有し、21 時間以内に回復しない」ことにより 区分 1
- ・鉱油  
ウサギを用いた試験において軽度の刺激性を認めている複数の報告 (IUCLID (2000) ) があることから 区分 2B

#### 皮膚感作性

- (製品のデータ) 情報なし
- (成分のデータ) ・鉱油  
モルモットを用いた OECD guideline 406 に準拠した複数の試験(maximization test を含む) においていずれも感作性なしとの結果が得られたので 区分外

#### 呼吸器感作性

情報なし

#### 生殖細胞変異原性

- (製品のデータ) 情報なし
- (成分のデータ) ・ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル  
CERI・NTTE 有害性評価書 No. 89 (2005) の記述から経世代変異原性試験なし、生殖細胞 in vivo 変異原性試験なし、体細胞 in vivo 変異原性試験で陰性の結果から 区分外
- ・鉱油  
ラットを用いた細胞遺伝学的試験 [染色体異常試験] (体細胞 in vivo 変位原性試験) における異常細胞の増加 (IUCILD (2000) ) に加え、職業暴露を受けたヒトの末梢血リンパ球で染色体異常の頻度増加が観察された IARC suppl. 7 (1987) こと、及び生細胞 in vivo 遺伝毒性試験の情報がないことに基づき 区分 2

#### 発がん性

- (製品のデータ) 情報なし
- (成分のデータ) ・鉱油  
IARC (1987) により未精製または軽度処理油はグループ 1、高度精製油ではグループ 3 に分類され ACGIH (2006) の提案もほぼ同様の分類と言える。産衛学会 (1977) では未精製および半精製品として第 1 群に分類される。本製品に使われている鉱油は高精製度油であり 区分外

#### 生殖毒性

- (製品のデータ) 情報なし
- (成分のデータ) ・ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル  
CERI・NTTE 有害性評価書 No. 89 (2005) の記述から、ラットの生殖毒性試験、催奇形性試験において生殖毒性影響が見られないことから 区分外

#### 特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

- (製品のデータ) 情報なし
- (成分のデータ) ・ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル  
実験運物については、「傾眠、運動性亢進」、「運動失調」(RTECS 2006) との記述があることから麻酔作用を有すると考えられていた。 区分 3 (麻酔作用)
- (成分のデータ) ・鉱油

ラットに吸入暴露した試験により、肺に肉眼的、病理組織学的な急性変化（詳細不明）が用量依存的（1.51 ~ 5.05 mg/ℓ）に見られた。 区分2（肺）

#### 特定標的臓器・全身毒性 - 反復暴露

（製品のデータ） 情報なし

（成分のデータ） ・ 鉱油

長年にわたり鉱油、あるいはそのミストの影響を受けたヒトで肺線維症、脂肪肺炎、肺の脂肪肉芽腫が報告され（ACGIH 2001）、IARC（1984）、EHC20（1982）、また、疫学調査において切削油への職業暴露により重度の毛嚢炎の派生が報告されている。 区分1（肺、皮膚）

#### 誤えん有害性

（製品のデータ） 情報なし

（成分のデータ） ・ 鉱油

ヒトで鉱油の摂取により肺への吸引を引き起こし、その結果油性肺炎または化学性肺炎をもたらすとの報告 区分1

---

## 1 2. 環境影響情報

### 水生環境急性有害性

（製品のデータ） 区分3（但し、未知成分 50 % 以上含有する）（水性生物に有害）

（成分のデータ） ・ ポリ（オキシエチレン） = アルキルエーテル（エチレンオキシドの付加モル数 12 の場合）

オオミジンコ 48 時間 EC 50 = 1.4 mg/ℓ 区分2

### 水生環境慢性有害性

・ 情報なし

### 残留性・分解性

・ 情報なし

### 生体蓄積性

・ 情報なし

### 土壤中の移動性

・ 情報なし

### 他の有害情報

・ 特になし

---

## 1 3. 廃棄上の注意

### 廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報

- ・ 容器、機械装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、都道府県の許可を受けた業者に委託すること。
- ・ この製品の廃棄物など焼却処理する場合には、有毒ガスが発生するため、洗浄設備のある焼却炉を使用すること。
- ・ 廃棄物等を焼却処理する場合には、有害毒ガス発生するため、洗浄設備のある焼却炉を使用すること。

### 汚染容器包装の廃棄方法

- ・使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約して処理すること。

---

#### 1 4. 輸送上の注意

##### 国際規制

- 国連番号 ・該当なし
- 品名 ・該当なし

##### 国内規制

- ・該当なし

##### 輸送の特定の安全策及び条件

- ・運搬に際しては容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転落、落下、容器破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。
- ・緊急時応急措置指針番号 該当なし

---

#### 1 5. 適用法令

- 化学物質管理促進法（PRTR 法） ・法第 2 条第 2 項施工令第 1 条 別表 1（第 1 種指定化学物質）  
政令番号 407 号 ポリ（オキシエチレン）= アルキルエーテル  
（平成 22 年 4 月改正前 政令番号 307 号）
- 労働安全衛生法 第 57 条の 2 通知対象物質  
政令番号 168 号 鉱油

---

#### 1 6. その他の情報

##### 参考資料

- 日本産業衛生学会誌 49 - 149 - 160（2007）
- TLVs and BELs、ACGIH（2008）
- GHS 分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 日本規格協会 GHS に基づく化学物質の分類方法 JIS Z 7252 : 2009
- a) 安全データシート（原料メーカー）

---

##### 記載内容の取扱い

- ・安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者へ提供されるものです。取扱う業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
- ・すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをおすすめします。なお、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

---

##### 記載内容の問い合わせ先

- ・担当部門 シンレキ工業株式会社 中央研究所
- ・住所 〒 210 - 0867 神奈川県川崎市川崎区扇町 6 番 2 号
- ・電話番号 044 - 366 - 1617



- ・FAX 番号 044 - 366 - 1618
  - ・メールアドレス kenkyu@shinreki.co.jp
  - ・受付日時 月曜日 ~ 金曜日 (祝日は休業) 8:30 ~ 17:30
-